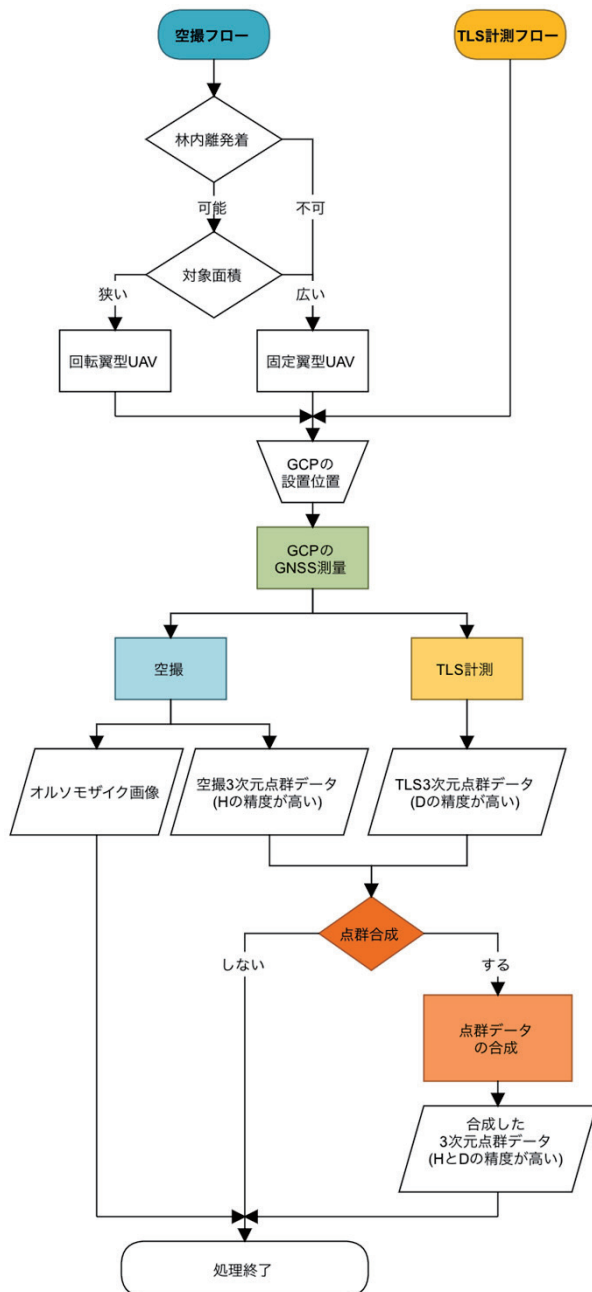


TLSと連携させるための UAVの計測計画と安全管理

安全管理



- 不測の事態に備えて、現地の下見とフライトプランの精査が重要である
- カラスや猛禽類の存否を確認し、営巣期を避ける
- 森林では電波が大きく減衰する。機体との通信維持と機体の予期せぬ挙動に即応できるように森林域では目視内飛行を強く推奨する
- バッテリーの中身は空気に触れると激しく発火する。墜落した際に枝や石等が当たることによって火災の危険もある。飛行前点検は機体の他にバッテリーについても実施し、膨らみのあるバッテリーや古いバッテリーは使用しない
- 衝突回避システムを過信しない。枝や電線等には反応しないことがある
- GCP（Ground Control Point：地上基準点）は必ず設置する。特に多時期にわたる空撮時には必須である